定期作況報告

(平成17年7月20日現在) 北海道立天北農業試験場

気象概況

- 6月下旬から7月中旬までの気象は以下のように推移した。
- 6月下旬: 平均最高気温が 22.0 (対平年値+4.9 、以下同様) 平均最低気温が 12.5 (+2.2) とそれぞれ平年より高かったため、平均気温は 17.3 (+3.6)と平年より高かった。 降水量は 0mm (0%) と平年より少なかった。日照時間は 73.5 時間 (189%) と平年より長かった。 畑地温は 14.4 (+1.0)と平年よりやや高かった。
- 7月上旬: 平均最低気温が 9.9 (-1.5)と平年より低かったため、平均気温は 12.9 (-1.4)と平年よりやや低かった。降水量は 0mm(0%)と平年より少なかった。日照時間は 36.3 時間(108%)と平年並であった。畑地温は 12.7 (-1.8)と平年より低かった。
- 7 月中旬: 平均最高気温が 22.6 (+3.1)と平年より高かったため、平均気温は 18.6 (+2.4) と平年より高かった。降水量は 0mm(0%)と少なかった。日照時間は 55.3 時間(141%)と平年より長かった。 畑地温は 14.7 (-1.0)と平年よりやや低かった。

以上、この期間を要約すると、平均気温は6月下旬と7月中旬が高かったため、3旬の平均は16.3 (+1.6) と平年よりも高かった。降水量はいずれの旬も観測されなかった。なお、降水は6月14日以降観測されていない。日照時間は6月下旬と7月中旬が長かったため、3旬の合計は165.1時間(148%)と平年よりも長かった。畑地温は7月上旬・中旬が低かったため、3旬の平均は13.9 (-0.6) と平年よりやや低かった。

4 月からの主気象要素の積算値は、平均気温、日照時間、畑地温は平年並に推移しているが、降水量は平年よりもやや少なく推移している。

a . 気象表

月旬	6月下旬			7月上旬		7月中旬			3 旬平均または合計			
項目	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温()	17.3	13.7	3.6	12.9	14.3	1.4	18.6	16.2	2.4	16.3	14.7	1.6
平均最高気温()	22.0	17.1	4.9	16.2	17.4	1.2	22.6	19.5	3.1	20.3	18.0	2.3
平均最低気温()	12.5	10.3	2.2	9.9	11.4	1.5	14.5	13.1	1.4	12.3	11.6	0.7
降水量(mm)	0	25	25	0	36	36	0	36	36	0	97	97
降水日数(日)	0	4	4	0	4	4	0	4	4	0	12	12
日照時間(hrs)	73.5	38.8	34.7	36.3	33.8	2.5	55.3	39.3	16.0	165.1	111.9	53.2
平均畑地温(10cm,)	14.4	13.4	1.0	12.7	14.5	1.8	14.7	15.7	1.0	13.9	14.5	0.6
最多風向	1.3		·	1.6			2.0			·		
平均風速(m/s)	SSW			SSW			SSW					

- 注1) 平均畑地温は天北農試のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。
 - 2)平年値は前10か年の平均より天北農試作成。
 - 3)降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。
 - 4) 印は対平年値比減を示す。

b.主気象要素積算値(4月21日~7月20日)

	平均気温	降水量	日照時間	畑地温	
	()	(mm)	(hrs)	()	
本年	995	152	470	865	
平年	1,037	235	426	977	
比較	42	83	44	112	

作況

1.牧草

1)採草型 チモシー

作況:1番草 不良

2番草 不良

事由:1番草の収穫日は6月22日で平年に比べ5日遅かった。草丈は概ね平年並であったが、乾物収量が低かった。したがって1番草の作況は不良である。

7月20日現在の草丈は平年に比べ13cm短く、降水量の不足が一因と考えられた。したがって7月20日現在の2番草の作況は不良である。

調査項目(1番草)

収穫期	阴(6月	の日)	草丈(cm)			=
本年	平年	比較	本年	平年	比較	
22	17	5	90	88	2	

注)平年値は前3年の平均値

調査項目(1番草、続き)

生草収量 (kg/10a)			乾物率(%)			乾物収量(kg/10a)			
本年	平年	比較	本年 平年 比較		本年	平年	比較	平年比	
3470	3226	244	18.2	21.8	3.6	630	699	69	90

注)平年値は前3年の平均値

調査項目(2番草)

草丈 (cm)							
本年 平年 比較							
23	36	13					

注)平年値は前3年の平均値

2)放牧型 ペレニアルライグラス

事由:7月20日現在の草丈は平年に比べ同程度であるが、乾物収量はやや高かった。 よって、3番草の作況はやや良である。

作況:3番草 やや良

調査項目

 草丈(cm)

 本年 平年 比較

 28 28 0

注)平年値は前3年の平均値

調査項目

生草収量 (kg/10a)		乾物率(%)			乾物収量(kg/10a)					
本年	平年	比較	本年	平年	比較		本年	平年	比較	平年比
530	502	28	20.5	19.5	1.0		108	97	11	111

注)平年値は前3年の平均値